

戸山

新宿区立戸山小学校

委員会活動

特活主任

委員会活動は、子どもたちにとって学校生活
がより楽しく、より充実したものになるよう、
学校内の仕事を分担し、課題に自治的に取り組
んでいくための活動です。戸山小学校では、
5・6年生が「食・健康」「放送」「図書」「栽
培・飼育」「集会」「体育」「掲示」「計画」の8
つの委員会が活動しています。計画委員会は、
4年生も参加しています。月に一度程度の頻度
で、年間11回の活動日があります。しかし、
実際に仕事に取り組むのは設定された活動日だ
けではありません。日々の生活に密接に関わる
仕事内容のため、休み時間にも取り組んでいる
ことがほとんどです。コツコツと毎日責任をも
って取り組む仕事から、行事や集会、発行に向
けて工夫を凝らしながら計画的に進める仕事ま
で、その活動は多岐にわたります。高学年の子
どもたちの頑張りで、戸山小学校の学校生活が
支えられていることは間違いありません。

これからも、それぞれが自分の役割をしっか
り果たし、より良い戸山小学校を目指してい
きます。

学年の窓 3年

3年学年主任

3年生になり、学習内容が増えました。音
楽では新しくリコーダーを使い、吹くことが
できる音が増えました。外国語活動では、歌
を歌ったり、ゲームをしたりして楽しみなが
ら外国語に触れています。総合的な学習の時
間では自分たちが調べたことをそれぞれまと
めています。AOTでもその成果を見ていただ
けたのではないのでしょうか。書写(毛筆)の学
習では、慣れない筆遣いに緊張する姿も多く
見られましたが、止め、はね、はらいに気を付
けて文字を書いたり、小筆を使って自分の名
前を書けるようになったりとできることが増
えてきました。

そして先日、いよいよ書き初めに挑戦しま
した。普段よりも長い半紙に堂々とした字を
書くために真剣に取り組んでいました。その
成果はぜひ書き初め展でご覧ください。

子どもたちは日々、新たなことを吸収し、
成長しています。保護者の皆様にも、その成
長した姿をご覧いただけることを願って、こ
れからも指導していきます。

いざという時のために

校長 古谷 勉

新年あけましておめでとうございます。今年もよろし
くお願いします。また、11月に実施されたAOTでは、
保護者・地域の皆様に多数ご来場いただき、児童の成長
した姿を見ていただきました。誠にありがとうございました。

昨年12月の避難訓練は「中休みに地震が起こり給食
室から出火」という想定でした。教室や廊下にいる児童
は「落ちてこない・倒れてこない」場所に身を寄せ、校
庭や体育館にいる児童は、中央に集合し、揺れがおさま
るのを待つという訓練です。今年度8回目の訓練で、し
かも休み時間ということもあってか、残念ながらやや緊
張感に欠ける様子が見られました。全体で集合した際
には、次回は真剣に取り組むよう指導したところです。

1月17日は阪神淡路大震災が起こって30年になり
ます。当時、わずかな揺れを感じテレビをつけたところ、
関西で大きな地震が発生したとニュースで報じていま
した。「関西で起こった地震で関東が揺れる？」と困惑し
つつ出勤すると、職員室のテレビでは徐々に明らかにな
ってきた被害の状況を伝えていました。死者6,434人
(H17.12.22現在)。都市直下型震災で戦後発生し
た地震では当時最大級の被害。道路や鉄道、電気、ガス、
水道などのライフラインが広範囲にわたり寸断され、被
災した方々を更に苦しめました。都市直下型の震災によ
る被害の実際を知り、他人ごとではないと強く感じたこ
とを記憶しています。

その16年後の東日本大震災では、私たち自身も被災
し、震源地付近の被害ほどではありませんが、都市機能
が麻痺し、厳しい状況を強いられました。

しかし、それらの記憶も、時とともに薄れてきていま
す。両震災を経験していない児童にとっては尚更で、能
登半島地震も実感がないのかもしれません。ただ、昨年
1月におこった飛行機衝突事故で、短時間で大勢の乗客
が全員避難できたように、日頃の訓練が役立つ場面がい
つ来るとも限りません。学校では現在、毎月想定を変え
ながら訓練を実施していますが、少しでも緊張感をもっ
て訓練に臨めるよう、今後も工夫をしていきたいと考
えています。ご家庭でも折に触れ、災害の恐ろしさや訓練
の重要性について話題にいただき、自分の命は自分
で守るようにお話してください。